

# 海外安全対策情報

【2018年4月～6月】

当地に居住する在留邦人の皆様及び旅行や出張等で当地を訪れる短期滞在者の皆様が、当地で安全にお過ごしいただくため、ご注意頂きたい事件・事故情報などについて、以下のとおり取りまとめましたので、皆様の安全対策の参考にしてください。

## 1. 治安概況

山東省の治安は比較的良好と言われていますが、各種犯罪は日常的に発生しており、時には凶悪犯罪と呼ばれる類の事件も発生しています。また、飲酒や交通マナーに伴う揉め事が多発傾向にあり、些細なことからケンカとなり傷害事件に発展するケースも報道されています。さらに、近年の経済活動の発達によりネズミ講犯罪、ネット詐欺、ネットバンキング詐欺、偽ブランド品の横行など知能犯犯罪は多様化し、その手口も巧妙になるなど社会問題化しております。また、医薬品製造が盛んな山東省は、薬物製造にかかる化学品が蔓延しやすい土壌にあるため、麻薬の違法製造が後を絶たない状況にあります。

## 2. 防犯対策

当地では過去に、邦人がスリ、置き引きの窃盗被害に遭う事案や、夜間盛り場などでトラブルに巻き込まれる事案が発生しています。このような状況の中、次のような点にご注意し、犯罪に巻き込まれないようにしてください。

- (1) 外出の際は、周囲の状況に注意し、異変を察知した場合はその場を立ち去る。
- (2) 必要以上に目立つ華美な服装や行為、発言等は避ける。
- (3) 深夜の外出や夜間薄暗く人通りの少ない場所での移動を避ける。
- (4) 見知らぬ相手からの安易な誘い・要求には応じない。
- (5) 安易な気持ちで違法薬物の受取・使用はしない。
- (6) 不特定多数の人が集まる場所では、手荷物や貴重品の管理には細心の注意を払う。

## 3. 事件・事故報道

### (1) 暴走車両殺人（煙台市）

煙台市公安局によれば、6月25日7時20分ころ、芝罘区幸福中路の路上において黒竜江省出身の男（45歳）が車両を暴走させ、歩道の歩行者を轢いたり、多数の車両に衝突させるなどして、1名が死亡、10名が負傷した。同男は、現場に駆けつけた警察官によりその場で射殺された。

### (2) 凶器所持ネットタクシー運転手（済南市）

5月5日、河南省鄭州市において済南市出身の祥鵬航空キャビンアテンダント（21歳）が、ネットタクシー運転手に殺害された事件を受け、5月12日、済南空港でネットタクシーの一斉取締りが行われた。違法駐車や表示義務違反など15件あったほか、1名の運転手は、規制対象刃物2本、特殊警棒1個、催涙スプレー2個などを所持していたことで検挙された。

### (3) 常習スリ犯（済南市）

## 海外安全対策情報

---

5月から、済南市内でバスの乗客に対するスリ被害が連続発生した。済南市公安局がバスの監視カメラ映像などを解析したところ、80歳の容疑者を割り出し、バス運転手等に手配した。6月上旬、同容疑者に似た人物がバスに乗車中との通報を受け、同公安局がバス内でスリを行った同容疑者を現行犯拘束した。

### (4) 部品窃盗（青島市）

5月10日、地方から膠州市に運送で来たトラック運転手が路上に駐車し仮眠していたところ、朝、トラックに搭載されていたバッテリー2個がなくなっているのに気がついた。この事件の前後数日間、同地区では地方から来たトラックのバッテリーが盗まれる事案が複数発生していた。北关派出所は、5月13日、59歳の容疑者を逮捕し、同容疑者の供述によれば、本年4月から膠州市の北关地区、胶西地区で同種犯行を十数件行ったとのこと。

### (5) 無人コンビニ万引き（威海市）

5月20日と21日の両日、威海市にある同じ無人コンビニで万引きした男が、犯行を防犯カメラに撮影され検挙された。男は20日、コンビニの自動ドアの鍵部分に黒い物体を差し入れて鍵がかからないようにしていたが、21日は店に入った段階で鍵がかかったため、店内設置の非常ボタンを押して鍵を開け外に逃げていた。ただ、同コンビニは入る際に微信を使って自動ドアを開けるため、すぐに身元が判明し検挙された。

### (6) 高利貸し（済南市、平度市）

ア 済南市の大学生は、4月上旬インターネットの貸金サイトで金を借り返済期限に返さなかったところ、7,000元の返済額が4月下旬には20,000元以上に膨れあがっていた。金を借りるときには、返済期限を過ぎた場合の説明などがなくまま契約を結んでおり、知らぬ間に利息が増えていった模様。警察がこの件を処理しているが、大学生であっても防犯意識を高め、「学生ローン」に手を出さないようにしなければならない。

イ 6月中旬、平度市検察院は、2015年から高利で金を貸し付け嫌がらせにより返済を迫っていた犯罪集団を逮捕した。この集団は、高利で金を貸し付けた後、家の窓ガラスを割ったり、大きな音を出したり、家の中に居座るなどの嫌がらせを加えて、被害者に心理的圧迫を与えることで返済を迫っていた。

### (7) ネットデマ（膠州市、肥城市）

ア 近日、膠州市公安局は、微信の朋友圈上で「5月17日、青島市内に軍部隊が進駐し、工場は操業停止、車の進入・運送会社や出前配達なども一斉に禁止される」とのデマを書き込んだ容疑者を検挙し、同容疑者は「中華人民共和国治安管理処罰法」により10日間の行政拘留処分を受けた。公安局は、インターネット上でも法治が及ぶものであり、デマを流言・拡散・信じることはしないように求めている。

イ 6月5日、微信上で「6月6日から12日まで市内の全てのガソリンスタンドが営業を停止する」とのデマを流した肥城市の運送業の男（32歳）を検挙し、行政拘留処分を科した。

### (8) 交通事故（青島市、済南市）

ア 5月14日、乗用車が烟台市の沈海高速道路を走行中、突然車体から発火し炎上した。火の勢いが強く、消防が駆けつけ消火にあたったが、乗用車は車体のみが焼

け残った状態となった。ただ、運転手はいち早く火から逃げたため無事であった。  
イ 6月13日午前8時過ぎ、済南市内の道路上において、電動バイクを運転していた女性が交差点を右折しようとしたバスに巻き込まれ、バスの下敷きになる事故が発生した。現場付近の済南中学校で行われていた中考試験に付き添ってきた親たちがバスを持ち上げ女性を救助した。女性は、左足の骨が露出する怪我を負った。

### (9) 登山遭難事故（青島市）

4月29日、嶗山太清管理処は、嶗山で遭難した大学生3名を救助した。同大学生3名は、同日午後から嶗山登山を始め、山頂に登頂後、日没後の月の明かりを頼りに下山していたが、自分たちの位置がわからなくなり、嶗山太清管理処に救助を要請した。嶗山風景名勝区によれば、夜間の登山道は危険で天候も変わりやすいので、必ず暗くなる前に下山するように注意を促している。

### (10) 水難事故（済南市）

6月24日、新泰市のダムで少年7名が泳いで遊んでいたところ、その中の2名の姿が見えなくなったため、救急通報をした。救急隊がダム内を捜索したところ、岸から遠くない場所に沈んでいた2名を発見、引き上げたが、2名とも死亡が確認された。新泰市内では、最近1ヶ月の間に5件の水難事故が発生し、6名が亡くなっている。

## 4. 治安対策等報道

### (1) 薬物対策関連

6月26日の世界薬物乱用・不正取引防止デーに関連した山東省内の薬物対策

#### ア 強制隔離施設（淄博市）

淄博市にある山東省魯中強制隔離戒毒所では、薬物依存者に最低3ヶ月間の軍事訓練を行わせて、団体意識の植え付け、心理状態の調整をするとともに、身体機能の回復を図っている。さらに中国伝統文化教育を行う「文化治療」により、薬物依存者の人生観や意識改革を行っている。また、薬物依存者に対して通常の治療以外に漢方薬、針灸、按摩など中国医学での薬物依存治療も行っている。

#### イ 薬物犯罪統計（山東省）

6月25日、山東省法院裁判委員会の発表によれば、山東省における薬物犯罪は、薬物密輸・販売・製造、他人に薬物摂取させる場所の提供、違法薬物所持の3つ類型が全薬物犯罪の94%を占めている。薬物犯罪の発生場所としては、青島市、煙台市、臨沂市の順で多く、青島市が山東省の薬物犯罪件数の40%以上を占めており、煙台市は2014年から毎年比率が増加、臨沂市は2017年の薬物犯罪件数が前年比47%増と急増している。

#### ウ 青島市薬物密輸検挙状況（青島市）

青島税関の発表では、2009年から青島税関が検挙した違法薬物密輸事件は66件あり、押収薬物は、覚醒剤21.95kg、コカイン89.29kg、ヘロイン4.54kg、違法薬物製造に使われる化学薬品144トンを押収した。最近の事件では、2018年4月外国人がモリンガ茶と偽って国際郵便でチャット（覚醒植物）23kgを密輸した事件を検挙した。

### (2) 少年犯罪統計（山東省）

5月30日、山東省高級人民法院が発表した少年犯罪統計によれば、2015年以前の

5年間は、未成年犯罪者総数に占める学生犯罪者数の割合が高い傾向にあったが、最近3年間の学生犯罪者数は、2015年217名、2016年199名、2017年86名と低下してきている。また、未成年犯罪の低年齢化は以前より未成年犯罪の顕著な特徴となっていたが、最近2年間の統計によれば、これにも歯止めがかかっている。14歳～16歳の未成年犯罪者の割合は、2012年には未成年犯罪者総数の11.14%を占めていたが、2016年、2017年とも6.5%前後に低下している。

一方、山東省の未成年犯罪者総数は、2008年以来減少傾向にあったところ、2015年1792名、2016年1273名、2017年1671名と、昨年は前年比23.81%増となり、増加基調となった。

### (3) 逃亡犯集中取締り（山東省）

山東省公安厅は、本年4月～5月の2ヶ月間、省内の逃亡犯集中取締りを実施し、10年以上逃亡していた殺人犯や強盗、誘拐など8種類の重罪逃亡犯67名を検挙した。同公安厅によれば、今回の取締りでは、ビッグデータ情報解析が大きな役割を果たしたとのこと。山東省公安厅ビッグデータセンターには、758種類700億件のデータが蓄積され、逃亡犯のネット上及び現実世界における真性身分及び虚偽身分情報が共有され、解析及び追跡能力向上に貢献している。今回検挙された67名の逃亡犯の86%、58名がビッグデータ解析により検挙につながったものである。

### (4) 顔認証システムにより指名手配犯検挙（青島市）

5月10日、青島地下鉄公安分局は顔認証システムにより、青島市の地下鉄に乗るため地下鉄駅構内に入った濰坊市の指名手配犯を検挙した。同指名手配犯は、顔が似ていた1歳違いの従兄弟の身分証を使って濰坊市で暮らしていたが、青島市内に遊びに来て地下鉄に乗ろうとしたところ、顔認証システムにより発見された。青島市の地下鉄では、駅構内に入る際にすべての乗客につき1枚以上の顔写真を撮って、指名手配犯など各システムの情報との自動識別を行っており、これまでに同システムで4名の指名手配犯を検挙した。

### (5) 飲酒運転取締り状況（青島市）

5月2日、青島市公安局交通警察が明らかにしたところによれば、本年に入り35名を飲酒運転で取締り、それぞれ罰金、免許停止、行政拘留の処分を科した。飲酒運転の事例には、事故、当て逃げ、半年内2度目の取締りなどがあり、同交通警察は、飲酒運転は非常に危険な行為であるため今後も取締りを厳しく進める方針。

### (6) 違法タクシー取締り状況（青島市）

青島市交通運輸監察隊は、本年に入り336件の違法ネットタクシーを取り締まった。昨年4月1日に施行された「青島市ネット予約タクシー経営サービス管理暫定規則」によれば、ネットタクシーに従事するためには、道路運輸証及び運転資格証を必ず取得しなければならず、更に空港や駅などのタクシー専用道路の通行は禁止されている。同監察隊は、正規のタクシーを利用を促すとともに、問題が発生した際は、ナンバーを控えたり、動画を撮るなど証拠を残して訴えるように促している。

### (7) 配達バイク取締り（済南市）

6月5日、済南交通警察、済南郵政管理局、配達業協会などは合同で、配達バイクを管理する「12条規定」を公布した。その内容は、配達バイクと運転手を交通管理部門の管理プラットフォームに登録し、配達バイクに識別番号を埋め込み運転手と紐

付けることにより、違反行為の証拠収集を行う。そして、2回違反行為をした運転手に対しては、強制的に休業させて学習を強いるとともに管轄交通警察による行政処分を受けさせる。また、3回違反行為をした運転手は、管理プラットフォームから削除するとともに当該車両の識別番号をバイクから撤去し、更に新聞に実名報道することとしている。

### (8) 密漁取締り強化（済南市）

4月29日、済南市城郷水務局は、済南市民飲用水の水源である臥虎山ダムでの密漁取締りを実施し、5名を検挙し罰金などの処分を科した。水污染防治法では、「飲用水の水源地での水泳、魚釣りは違法活動である」と規定されている。臥虎山ダムでは、20個以上の監視カメラを設置し、5艘の取締船を導入し、昼夜を問わず水面、陸上における取締りを強化している。

### (9) ネット図書取締り（山東省）

6月、山東省ポルノ・違法出版物一掃弁公室は、6月から8月末までの間、山東省全体でネット図書取締りを実施するとの通知を発した。今次取締りの重点目標は3つあり、一つ目は、歴史歪曲や社会主義の核心価値観に反する低俗ネット文学作品の伝播取締り、二つ目は、わいせつ図書サイトに広告を掲載することを取締り同様サイトへの資金流入を遮断する、三つ目は、著作権を侵害する海賊版取締りである。

### (10) 廃棄物輸入摘発（青島市）

5月22日、青島税関は烟台、日照、杭州など各地の税関と一斉に廃棄物輸入業者摘発を行い、3業者、容疑者13名を摘発し、廃プラスチック376トン、廃棄物3100トンを押収した。摘発された業者は、輸入品目を亜鉛鉱石として申請していたが、実際は中国政府が輸入を禁止している廃棄物であった。本年に入り青島税関は、廃棄物輸入取締りを強化している。

### (11) 生産活動事故状況（青島市）

青島市安全生産監督管理局によれば、2018年1月から5月までの青島市内で発生した各種生産活動に伴う事故は43件、死亡者40名であった。内訳は、交通運輸事故が23件、死亡者18名。建築事故が4件、死亡者4名。その他製造業等で16件、死亡者18名であった。中でも高所からの転落事故の発生が頻発しており、1月から5月で8件8名が死亡。5月の1ヶ月間で3件3名の死亡者が発生しており、転落事故が5月中における建築及び製造事故の50%を占めている。

(了)